

カリフォルニアエネルギー委員会

エネルギーインフラの監督



安全で信頼性の高い電気システムを構築するための重要な部分は、提案されている火力発電所の見直しをします。プロジェクトの設計評価、潜在的な環境への悪影響の分析を含むもの。カリフォルニアエネルギー委員会は、このレビューを実施し、これらの許可された発電所がすべての法律および条件を遵守することを保証する責任を負います。

火力発電所の許可

具体的には、エネルギー委員会は、カリフォルニア州における建設のために提案されている50MW以上の火力発電所のすべてに対して、環境保護団体として認可されています。この権限はまた、送電線、天然ガスライン、送水パイプラインなどのプロジェクトに関連するインフラストラクチャーを対象としています。エネルギー委員会の許可プロセスは、提案された火力発電所を透明な公開手続で見直し、公衆衛生と安全を守り、一般福祉を促進し、環境の質を維持するように設計、建設、運営されることを保証し

エネルギー委員会は、カリフォルニアで建設が提案されている50メガワット以上のすべての火力発電所に対して唯一の認可権限を持っています。



ます。このプロセスは、カリフォルニア環境品質法 (CEQA) のレビューと機能的に同等であり、これらの機関の許可要件が確実に組み込まれるよう、地方、州、および連邦政府機関との調整を必要とします。

エネルギー委員会は、太陽光、風力、海上風、または送電プロジェクトの許可を発行しないか、またはその規制を行っていないか、カリフォルニア州公共事業委員会との間で、提案された投資家所有のCEQA分析を提供するためにユーティリティ電力伝送プロジェクトと統合しています。これらのプロジェクトを承認または拒否する最終決定は、カリフォルニア公共事業委員会によって行われます

コンプライアンスと施行

エネルギー委員会は、認可された火力発電所がその許可および法律に従って建設され、運転され、廃止されることを確実にするための点検および執行プログラムを維持しています。これには、年次報告要件、オンサイト監査、正式および非公式の苦情の調査が含まれます。必要に応じて、エネルギー委員会は、火力発電所をコンプライアンスに持ち込むか、違反者に対して執行措置を取るために、プロジェクトオーナーと協力することが可能です。

電気システムインフラストラクチャの計画

提案された発電所を見直すことに加えて、エネルギー委員会は、将来の電気システムインフラストラクチャの計画において重要な役割を果たします。エネルギー委員会は、砂漠再生可能エネルギー保全計画、再生可能エネルギー送電イニシアチブ、サンホアキン谷最低紛争ソーラー、および米国海洋エネルギー管理局 - カリフォルニアオフショア風力発電事業などの複数の景観レベル計画の取り組みを主導し、姉妹機関と積極的に協力してきました。

また、エネルギー委員会は、公的なワークショップを開催し、重要なエネルギー研究の資金を調達し、カリフォルニア西部の気候とクリーンエネルギーの目標、再生可能エネルギーの統合、将来の電力伝送のニーズ、および米国西部の州の電気卸売市場を拡大するための提案されたオプションを分析しています。



Governor
Gavin Newsom

Chair
Robert B. Weisenmiller, Ph.D

Executive Director
Drew Bohan

Commissioners

Karen Douglas, J.D.

David Hochschild

J. Andrew McAllister, Ph.D.

Janea A. Scott, J.D.

energy.ca.gov | facebook.com/CAEnergy | twitter.com/calenergy | instagram.com/calenergy

January 2019